

全日本学生ポルトガル語弁論大会

弁論大会審査規定

※候補者は以下の規則に従って審査員の評価をうけることとします。

1. 弁論の制限時間は5分間で、これを超えた場合ゴングが一回鳴ります。
この後30秒を超えるとゴングが2回鳴り、これを合図に弁論の途中でも候補者は直ちに退場せねばなりません。
2. 弁論は以下の項目にしたがって評価されます(各10点)。
 - (1)口頭表現(内容や場にふさわしい方法で流暢に表現しているか)
 - (2)弁論の内容(内容自由。大学生にふさわしい内容を掘り下げているかどうか)
 - (3)発音(PE, PBのどちらを採るにせよ体系的に音声を習得しているかどうか)
 - (4)暗唱できているかどうか(途中でテキストを参照するとマイナス評価を受けます)
※弁論後審査上の必要に応じて、審査員によるポルトガル語での面接が行われることがあります。
3. 上記書項目の評価を総合した点数により順位を決めます
(同点の場合は審査委員長の判断に一任します)。